	中期経営目標 【3年間】	短期経営目標 【2年目】	目標達成のための手立て	評価項目<評価方法>
確かな学力	幅広い視野を持ち、力強く挑戦し続ける生徒の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・付きたい「資質・能力」の育成に向け、ICTや書籍等を活用した基礎・基本の徹底と深い学びの充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・付きたい「資質・能力」を育成するための指導方法の工夫・改善を行う。 ・クロームブック等のICT及びタブレットドリルを有効に活用する方法に関する職員研修を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「生徒の学び合い・教え合う場を意図的に設定した」「ペア・グループ等での解決活動や交流を行うことで深い学びにつなげた」の項目で肯定的な回答をする職員の割合は95%、100%で、いずれも目標値の90%を上回った。<職員アンケート> (2、3学期末実施) ・「職員研修で学んだICTや書籍の活用方法を授業に生かすことができた」と肯定的な回答をする職員の割合は83%で目標値の90%を下回った。<職員アンケート> (2、3学期末実施) ・「ICTや書籍等の活用で学びが深まったと感じる」と回答する生徒の割合は85%で目標値の80%を上回った。<生徒アンケート> (1、2学期末実施) ・「授業がわかる、おもしろい、楽しみである」の3項目で肯定的な回答をする生徒の割合は、それぞれ88%、80%、66%で概ね目標値の70%を上回った。<生徒アンケート> (1、2学期末実施)
	基礎・基本の定着及び主体的に学び、協働し合う学習の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善 	<ul style="list-style-type: none"> ・「主体的な学び」を促す学習課題の設定と指導課程の工夫をした単元計画作成、及びグループによる授業研究を行う。 ・「振り返り」の指標を共有し、学習の内容をより効果的に振り返らせる。 ・学力調査・定期試験において、正答率30%未満の生徒への定期試験期間中及び長期休業中の補充的学習を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループで授業研究を実施し、授業の感想や改善点等の交流を行う。61%<職員アンケート> (2、3学期末実施) ・「主体的な学びを促す指導の工夫、対話的で深い学びに向けた学習過程の工夫を行った」と肯定的な回答をする職員の割合は89%で目標値の70%を上回った。<職員アンケート> (1、2学期実施) ◎振り返りの視点をもって振り返りができていると回答した生徒は80%、教職員は89%と目標値の80%以上を上回った。<生徒アンケート><職員アンケート> ◎定期試験の結果が30%未満の生徒は13%で目標値の15%以下を上回った。単元末テスト(国・数・英)では、それぞれ74点、59点、61点と目標値の80点以上を下回った。 ◎令和4年度全国学力・学習状況調査では、国語+1、数学-1.4、理科-1.3ポイントで、数学と理科では全国の平均正答率を上回ることはできなかった。
豊かな心・健やかな体	自分の周りや地域へ感謝の心を持ち自主的に貢献活動などの行動ができる生徒の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒支援の充実(積極的・組織的な生徒指導体制の充実) ・不登校生徒の減少 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導部会週1回開催による、情報共有化と計画的指導確立 ・Q-Uアンケート分析結果を活かした集団づくりの推進 ・計画的な個人面談による生徒の実態把握 ・教室に入りにくい生徒に対する学習環境の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・「先生はあなたの良い所を認めてくれていますか」についての肯定的回答が2学期の結果が1学期の結果を上回った。<生徒アンケート> 1学期 84% 2学期 88% ・「行事(体育大会・文化祭など)や生徒会活動(執行部・各種委員会など)、学級活動(係・班など)、部活動で、自分から進んで役割を果たそうとしている」と回答した生徒は81%で目標値の90%を下回った。<生徒アンケート> ・「地域貢献活動に自主的に参加した」と回答した生徒は71%で、目標値の60%以上を上回った。<生徒アンケート> ◎「無言清掃」ができていると回答した生徒は81%で、目標値の80%を上回った。<生徒アンケート> 「立ち止まってあいさつができている」と回答した生徒は68%で目標値の75%を下回った。<生徒アンケート>
	基礎・基本となる健やかな体の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・規則正しい生活習慣が身に付いた生徒の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会活動や部長会を活性化し、生徒が主体的に活動する手立ての工夫を行う。(生徒朝会の定例化や集会で目標や課題の共有化を図る) ・学校行事や部活動を通して、生徒の主体的な活動を推進し、思いやりの心やリーダー性を発揮できる生徒を育てる。(学校・生徒会行事や執行部会・部長会・CS活動等を活用する) 	<ul style="list-style-type: none"> ◎体力テストでは、全国平均を16項目10項目上回るという目標に対して、各学年上回った項目が1年7項目、2年4項目、3年5項目と目標値を下回った。 ・「体力を高めることを意識しながら生活している」73%「生活リズムをよりよくすることを意識しながら生活している」と回答した生徒は79%で、いずれも目標値の85%を下回った。<生徒アンケート> ・「休まないこと・遅れないことを意識しながら生活している」「授業・掃除・学活等の開始時間を守っている」「身だしなみ(服装・髪型)のルールを守っている」と回答した生徒は、それぞれ92%、93%、98%で、目標値の90%を上回った。<生徒アンケート>
			<ul style="list-style-type: none"> ・体育授業の充実と部活動の活性化を図る。 ・特別活動を通して、生活リズムを崩さない取り組みを行う。 	

◎は府南学園共通項目

達成値 = 肯定的評価 和 / 回答数 × 100 (%)	[自己評価] 4: 100 ≤	3: 80 ≤ < 100
達成度 = 達成値 / 目標値 × 100 (%)	2: 60 ≤ < 80	1: < 60